

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月11日更新

事務事業名		収入(歳入)事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	会計	課長名	山戸 宇機夫
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	会計課	担当者名	右田 和代
	基本事業	89	会計の適正な処理			所属班	会計班	(内線)	1004
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 8	事業連番 11149	法令根拠	地方自治法、合志市会計規則 成果優先度評価結果：⑩ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市の収入(歳入)に関する事務であり、地方自治法に基づき、実施している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①指定金融機関からのMO確認処理 ②市の現金出納表と指定金融機関の収支日報とのチェック ③会計管理者口座に直接振り込まれた収入の種類を調査し担当課に調定を起こしてもらい納付書を発行する。④歳入調定票の審査 ⑤余裕資金の運用 ⑥基金、歳計外現金の管理
【主な予算費目】	需用費、役員費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	合志市の収入(歳入)に関する事務を行った。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・合志市の収入(歳入)に関する事務 ・出納員設置事務統合
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)枚	予算の主な増減の理由
→ア:歳入関係の審査枚数	枚	需用費(消耗品費 図書代)の減
イ:収納MO処理件数	日数	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	収入金(歳入金)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)千円
		→ア:収入金額(歳入金額)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	正確に金額を把握し、速やかに正しい科目に収納する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)件
		→ア:誤って処理された(不備)書類の件数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
収入金を正確に把握し、正しい科目に収納することが目標になるので、誤って処理された件数を成果指数にすることで、その数値が低いほど目標を達成していることになる。		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
①活動指標	ア	枚	3,513	3,746	3,500	3,846	3,500	3,500	3,500
	イ	日数	243	242	242	247	242	242	242
②対象指標	ア	千円	28,034,612	27,921,170	30,000,000	29,002,394	30,000,000	30,000,000	30,000,000
	イ								
③成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	32	33	28	27	20	20	20
人件費	(A)事業費計	千円	32	33	28	27	20	20	20
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B)人件費計	千円	8,804	6,021	8,756	20,916	20,600	20,600	20,600
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,836	6,054	8,784	20,943	20,620	20,620	20,620	

総トータルコスト  
全体計画  
～  
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	収入（歳入）事務	所属部	会計	所属課	会計課
-------	----------	-----	----	-----	-----

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 収入金を正確に把握し、書類審査の強化を図れば達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 財務マニュアルを周知することで、調定誤りを減らすことができ、収入金を正確に把握できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はないため、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 19年度からは、臨時職員に代わり職員が配置されたことに伴い、事業費の削減となっているが、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 複数での審査が必要であり、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 内部事務であり法により審査が必要であるため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 内部事務であり法により審査が必要であるため、適正である。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度中に誤って処理した歳入は無かった。23年度も審査の強化を図りたい。
---------------------------------------

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						